

2015.12.28

第465回（12月定例）福崎町議会

福崎町長 橋本省三

第465回福崎町議会定例会の開会に当たり、一言ごあいさつを申し上げます。

12月6日に選挙が行われたことによりまして、12月議会の初日をこのような年の瀬、仕事納めの日に迎えることになりましたことを、まずはお詫び申し上げます。また、寒暖の差が大きい本年の季節にも関わりませず健康管理に努められ、全議員の皆様に出席をしていただきましたことを大変うれしく思っております。ありがとうございます。

さて、私は嶋田町長のあとを受け、今後4年間福崎町政の執行に当たることになりました。これまでの10年間、助役、副町長として町政の一端に参画してまいりましたが、副町長時代とは比べものにならない責任の重さに改めて気を引き締めますとともに、決意を新たにしているところでございます。

福崎町60年の歴史である教育及び福祉のあり方を正しく認識し、大きく様変わりしようとしている社会経済情勢に対応しながらも、嶋田町長が「住民こそ主人公」との政治信念を持って進めてこられた町政を継承・発展させ、町民の皆様が安心して暮らし、福崎町民であることに誇りを持てるまちづくりに力を尽くしてまいります。

私が選挙期間中に町民の皆様にお約束し、進めていかなければならない公約の主なものは、長年の課題であったJR福崎駅周辺整備、少子化対策として、中学校3年生までの医療費を所得制限を設けない完全無料化とすることや都市計画のゆるやかな見直し、安心・安全のまちづくりのための防災・減災のインフラ整備、さらには防犯活動の推進・観光振興などであります。これらの諸施策を計画的に推進するため、福崎町第5次総合計画にあります基本構想、基本計画に則して行政を進めていくことはもちろんのこと、常に町民の皆様のお考えやご意見を柔軟に受け止め、町政に反映させていくことも大切な務めであると思っております。そのためにも、行政懇談会の実施や、各種委員会への一般公募委員の選出など、町民の皆様が行政に積極的に参加していただき、参画と協働によるまちづくりを進めていきたいと考えております。

また、このたびの選挙では三輪一朝さん、山口純さんの新進気鋭の2名の新議員も当選され、議会に参加いただいております。14名の町会議員がそろわれたわけです。行政と議会は車の両輪に例えられることがあります。両者が互いに協力するとともに、牽制し合うことによって民主的な行政運営を行うことが期待されています。地方分権の進展と行政に

対する町民の関心の高まりを受け、本町でも開かれた議会、町民にわかりやすい議会を目指しさまざまな取り組みをすすめておられますが、行政、議会、町民の三者がそれぞれの力を発揮すれば福崎町はさらに住みよいまちになると確信しておりますので、今後の町政運営におきまして皆様の絶大なるご支援とご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

さて、次年度、平成28年度の予算編成方針が示されています。国の予算の概算も示され、地方財政計画に基づく一般財源総額が示されました。医療・介護等生活に必要な部分を含めると非常に厳しい数字が示されました。県の予算編成も始まっています。国県の動向を注視しながら進めてまいります。

以上で私からのあいさつとさせていただきます。